

氏名	鮎川 昌代 / AYUKAWA Masayo
所属・職名	松本看護大学 看護学部 教授
連絡先	m.ayukawa@matsutan.ac.jp
担当科目	成人看護学概論、成人慢性期看護論、緩和ケア論、災害看護学、ターミナル看護、統合実習 教養ゼミナール、連携ゼミナールⅠ・Ⅱ、卒業研究
学歴	日本赤十字広島看護大学大学院 看護研究科サクセスフルエイジング専攻修士課程 修了
学位	修士（看護学）
主な経歴	広島大学病院 看護師 広島文化学園大学・大学院 准教授 岐阜医療科学大学保健科学部 教授 松本看護大学看護学部 教授
研究分野	Successful Aging
所属学会	日本看護科学学会、日本看護教育福祉学研究会、日本医療教授システム学会、 International Association Human Caring
主な研究業績	
著書	<ol style="list-style-type: none"> 看護専門職の人生を育むものシリーズ 10『「言葉と人生」～心を動かされたあの一言～』橋本和子（監修）.共著.平成23.ふくろう出版 聴く力 :共著.ふくろう出版 2022年6月 ハンディクラフツ キルトと健康 : 鮎川昌代, 小林良子, Crew Patricia, MacDowell Marsha .手芸普及協会 日本ボーグ社, Vol.113 2022.3
学術論文	<ol style="list-style-type: none"> 心理学を活用した看護実践 : 岡本陽子（監修）.共著.ふくろう出版 2022年3月 ストレスに対する災害後チャリティーコンサートの効果.共著.平成25.キャリアと看護研究 2013;1(3).P15-24 The relationship between quilting and health model—飾り紐 —キルティングと健康モデルの関係.単著.平成26.国際看護哲学研究Vol.7No1.P73-76. 米国における「キルトと健康」に関する研究の実際と高齢者施設での取り組み.共著.平成26.看護学統合研究Vol.15.No2.P55-61 中高生におけるインターネット依存傾向と睡眠問題・不定愁訴の関連.共著.平成27.思春期学 33(4).P387-396 思春期のメンタルヘルス問題がインターネット依存傾向に与える影響.共著.平成29.小児保健研究76(6).P608-617 EFFECT OF WEB-BASED INTERVENTION ON INTERNET ADDICTION AMONG ADOLESCENTS: A QUASI-EXPERIMENTAL TRIAL、Co-authoring（2018）JOURNAL OF ADOLESCENT HEALTH 62(2) 126-126 COVID-19禍における新設大学大学生の地域貢献の実際 共著.日本看護教育福祉学研究.VOL.5.No1.2023. 中高年女性のうつ傾向の改善における手芸活動プログラムの有効性共著.日本看護教育福祉学研究.VOL.5.No1.2023.
学術発表	<ol style="list-style-type: none"> To understand the current situation in order to comprehensively study the prevention of serious lifestyle-related diseases in City A .Co-authoring,EAFONS2022 .21 and 22 April. Self-Reliance Support for Elderly Men .Co-authoring,EAFONS2022.21 and 22 April . Factors related to malnutrition in cancer patients undergoing outpatient chemotherapy. ICCN2023September 29 to October 2, in Glasgow